

女性とジェンダーの歴史

第 8 号
2021. 2

特 集 「長い 18 世紀」の女性の旅のナラティブ

- | | |
|--|------------|
| 趣旨説明 | 志渡岡理恵 (1) |
| 女性たちの大西洋往還と創作の磁場
—ポカホンタス、ベーン、モル、ウインクフィールド— | 原田 範行 (3) |
| 歴史の現場からのレポート
—1840 年以前に出版された女性の旅行記— | 志渡岡理恵 (9) |
| 啓蒙とロマン主義の「文人」たち
—「長い 18 世紀」のスコットランドと女性の旅行記— | 松井 優子 (15) |
| アイルランドの旅を書く女性たち
—シドニー・オーエンソンを中心として— | 中村 哲子 (22) |
| コメント—18 世紀における女性・旅・出版— | 指 昭博 (28) |

書 評

- | | |
|---|------------|
| タラ・ザーラ 著 (三時眞貴子・北村陽子 監訳、岩下誠・江口布由子 訳)
『失われた子どもたち—第二次世界大戦後のヨーロッパの家族再建』 | 中辻 柚珠 (31) |
| 武田尚子 著
『戦争と福祉—第一次大戦期のイギリス軍需工場と女性労働』 | 浮網 佳苗 (33) |
| 神野由紀・辻泉・飯田豊 編著
『趣味とジェンダー—〈手づくり〉と〈自作〉の近代』 | 八谷 舞 (35) |
| 中田元子 著
『乳母の文化史—一九世紀イギリス社会に関する一考察』 | 中村 勝美 (37) |
| サラ・S・リチャードソン 著 (渡部麻衣子 訳)
『性そのもの—ヒトゲノムの中の男性と女性の探求』 | 黒崎 周一 (39) |